

児童生徒が思考を深め、ねらいとする言語能力を身に付けるためには、言葉による見方・考え方を働かせながら伝え合う活動を充実させることが重要です。その際、児童生徒がどの言葉に着目し、どのように捉えたり問い直したりすれば学びが深まっていくのかを教師が具体的に想定し、適切な発問や価値付け等で支援することが大切です。

言葉による見方・考え方を働かせる

対象と言葉、言葉と言葉との関係を、言葉の意味、働き、使い方等に
着目して捉えたり問い直したりして、言葉への自覚を高めること

小学校の指導事例 第5学年 大造じいさんとガン (4 / 7)

<ねらい> 登場人物の行動や会話、情景などの描写に着目し、登場人物の心情を捉えることができる。(読むこと イ)

描写から登場人物の心情を読み取る事例  = 学びが深まっている姿

【本時の学習課題】

大造じいさんは、飛び去る残雪を
どんな気持ちで見っていたのだろう。

～S1 初発の解釈～

残雪のけがが治
ったから喜んでい
たと思います。



①行動や会話の描写を基に気持ちを考えさせる。 T: 教師 S: 児童



T: 大造じいさんは、どんな気持ちで残雪を逃がしたの
でしょうか。行動や会話に着目して考えましょう。

S2: 「おりのふたをいっぱい開けて」逃がしたので、思
い切り飛んでいけ、という気持ちだと思います。



S3: 「今年の冬も…やって来いよ」とあるので、残雪にま
た来てほしいという気持ちもあると思います。



S4: 「堂々と戦おう」というのは、再会したら真剣勝負を
しようという気持ちがあるからだと思います。



S1: みんな話を聞いていたら、大造じいさんの気持ちが
分かってきました。来年も元気な残雪と全力で戦いた
いから、また仲間と一緒に戻ってこいよ、という残雪との
再会を楽しみにしている気持ちだったと思います。



S1は、S2～S4の捉えにふれたことから初発の解釈を問
い直し、登場人物の気持ちについて考えを深めています。

②情景描写を基に、更に考えを深めさせる。



T: 大造じいさんにとって、残雪はどんな存在な
のでしょうか。情景を表す言葉に着目して考えて
みましょう。

S4: 「らんまんとさいたスモモの花が…雪のよ
うに清らかに…」は何かを表していそうだけ
れどなあ？



S1: 辞書では、「らんまんと」は花が咲き乱
れる様子で、「清らかに」はすがすがしいとか、
けがれがないという意味だよ。気持ちと関
係があるのかな？



T: 情景を表す言葉の意味が、大造じい
さんの気持ちと重なるところはありませんか。

S2: 「清らかに」は、大造じいさんの残雪
への憎い気持ちが消えていることを表してい
ると思います。



S3: そうか、「雪」は白くてきれいなイメ
ージだから、大造じいさんのすっきりした
気持ちと重なるし、残雪を敵だと思ってい
ないことが分かります。



S4: なるほど、大造じいさんにとって、
残雪は憎い敵から尊敬できるライバルのよ
うな存在になったことを表していたのね。
情景を表す言葉を手掛かりにしたら大造
じいさんの気持ちがよく分かりました。



情景描写にある言葉の意味等に着目し、対話を通して児童
が想像力を働かせながら、更に考えを深めています。